地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170（代）

第25号
令和元年
7月1日発行



写真：配属前新人研修より

令和
～和をもって～

p1～2　巡り合い　みんなが繋がっていく
p3　心の支えとなったのは仲間の存在
p4　チーム敬老園
p5～6　魅力発信!丸子地区のデイサービス
p7　五感で味わう敬老園の食事

敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。

敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。

敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。

巡り合い みんなが



斎藤理事長がおっしゃった「同期を大切に」という言葉を大切に、この配属前新人研修の最終日には同期の31人全員と仲良くなりたいと思いました。私は、介護経験がなくとても不安な気持ちで今日を迎えましたが、仲間がいることがとても心強く感じます。

今年の4月に入職した新人職員の感想です。どんなことでも最初は、誰もが初心者です。敬老園には、新人職員が安心して仲間になれる環境があります。

配属前新人研修プログラム

開講式 オリエンテーション
理事長講話
●法人の現状と将来のビジョン

座学
社会人としてのマナー
●身だしなみ、挨拶、笑顔、言葉遣い、電話対応、名刺交換等
グループワーク
●人間関係を円滑にするために大切なことは?

スポーツ研修
ソフトバレー
●チームワークとコミュニケーションを学ぶ

1泊2日宿泊研修
グループワーク
●なぜ、この仕事を選んだのか?仕事への思いとは?
講義
●認知症・事故防止・感染症予防・腰痛予防・健康管理

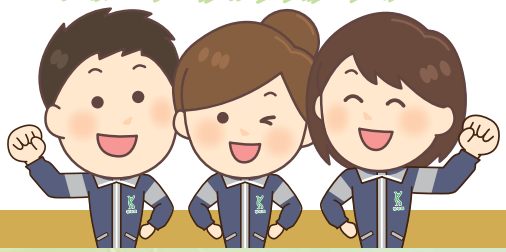
集合研修1
先輩職員との交流
●先輩職員に聞いてみたいことは?
各職種の1日の流れ

集合研修2
介護支援
●排泄介助、入浴介助、食事介助
移動及び移乗介助等

事業所研修
事業所見学
●施設長・管理者挨拶
生活支援
●衣類の干し方、たたみ方、清掃の方法等

閉講式
なりたい姿をイメージして目標を立てよう
●3ヶ月後、6ヶ月後、1年後の自分

START!



繋がっていく

～ 配属前新人研修より ～

配属前研修からの感想や想い

開講式で理事長が「敬老園の歴史」と「将来に向けてのビジョン」をお話しくださいました。旧丸子町の大塩温泉の特養（現在のにしうち敬老園）が出発点であること。そこから、現在に至るまで様々な方々のご協力とご支援があり、困難を乗り越えてきた敬老園の変遷をより深く学びました。特に新規に施設を開設する際の「ご利用者や地域の皆様に対する熱い想いや必ず成功させるんだ!」という強い決意に感銘を受けました。私も今後、その一員になり、敬老園を支えていく人材になりたいと思いました。

私は、内定式に参加できなかったため、研修初日が同期の皆さんと顔を合わせるのが初めてでした。ものすごく緊張していて、昼食を食べるときも何を話していいのか分からず、無言になることが多かったことを覚えています。新人研修を通じて介護職や調理職など職種は違っても「敬老園の職員になる」という点で共通していることから、同期という仲間意識が心強く感じることができました。

さぁ、これから共に…



私たちは「チーム」でご利用者・地域住民の視点で、皆様が生涯安心して生活していただける地域づくりに取り組んでいます。キラキラした新人職員が仲間になっていただけることで学ぶこと、思い出すこと、気づくことがたくさんあります。新人だから、ベテランだからと気負うことなく「理念の実践」を共通の認識とし、新しい令和の時代も地域の皆さんと共に歩んで参りたいと考えております。

永年勤続表彰

辛いなと思った時、心の支えとなったのは仲間の存在。守ってくれたのは 敬老園でした。

平成30年度末に永年勤続表彰式を執り行いました。この表彰は、就業規則に基づき「永年勤続し、その勤務成績が優秀で他の模範である職員」に対して敬意を表するものです。（受賞職員には表彰状と目録：勤続10年の場合35、000円が授与されます。）今回は、勤続30年1名、20年4名、15年36名、10年37名（合計78名）が受賞となりました。

平成30年度末で勤続10年以上の職員が350名を超え、職員のおよそ3人に1人が勤続10年以上となりました。経験豊かな職員がご利用者に寄り添ったサービスを提供しており、新人職員も含めた若手職員の育成にも注力しています。

「平成」から「令和」に元号が変わりました。勤続30年表彰を受賞した、永井栄子さん（現在：にしうち敬老園グループホーム勤務）は、正に「平成」を敬老園と共に歩んできました。

平成元年（1989年） 消費税3%開始

◎当時の事業所／にしうち敬老園（特養・診療所）

義母が敬老園に勤めていた縁もありまして入職しました。現在のようにご本人が施設を選ぶのではなく、自治体が入所者を決定する措置制度でした。先輩の寮母（現：介護職）さんを「見て覚える」時代で、失敗してばかりでしたが、ご利用者も活発な方が多かったため一緒になって行事を楽しんだりしたことが思い出です。「施設での生活をご利用者に喜んでもらいたい!」という一心で取り組んでいた気がします。

平成12年（2000年） 介護保険スタート

◎当時の事業所／にしうち敬老園
丸子デイサービスセンター
しおがわ敬老園

措置制度は、職員が主体でありました。敬老園は、先駆けてご利用者主体の考え方を職員が共通の認識とし「離床」「オムツ外し」「寝たきりゼロ」といった取り組みをしていました。「明日から、オムツを外そう。とにかく実践してみよう!」という団結力がとてもあったことを覚えています。

介護保険制度となり、ご利用者がサービスを選ぶ時代となったため、ケアの質の向上や選ばれるための情報発信をするようになっていきました。

令和元年（2019年）勤続30年で思うこと

制度の方向性に大きく左右される業界だと感じます。30年間で時代も取り巻く環境も大きく変化しました。ただ、個々の関わりに100%正解があるわけでなく「ご本人が望んでいることは何なのか。こうしたら喜んでいただけるかもしれない。」と 想い が常にあることは、新人の頃から変わっていません。今でも失敗することがありますが、「ありがとう。」と言っていただけた時のやりがいは、介護の仕事の魅力だと自信を持って後輩に伝えたいです。



勤続30年

永井栄子さん
（現在：にしうち敬老園
グループホーム勤務）

一所で一緒

チーム敬老園



No.11

うえだ敬老園
特別養護老人ホーム　介護職
花里 麻紀

当法人が運営する介護福祉士養成施設「上田福祉敬愛学院」を卒業後、平成29年4月に入職。「当たり前のことを当たり前にできる職員をこの先も続けていきたい！」と優しい笑顔でご利用者に寄り添っています。

介護の仕事をするうえで、大切にしていることを教えていただきたいです。

相手の立場になって考えることを大切にしています。ご利用者と日常をご一緒する中で、介助やお話をする時に「自分だったらどう思うか」を一度、考えてから行動をするように心がけています。また、どんなことが好みなのか、嫌いなことは…と関心を常に持つことで個々の望む支援に近づけると思っています。

先輩職員は、無駄な動きが無く、なおかつ丁寧に支援を行っています。私は、まだまだ未熟ですが、お手本になる先輩が近くにいらっしゃることは、本当に恵まれた環境だと感じています。声をかけられたら手を止めて、相手の目を見てお話を伺うことを目標に頑張ります!

介護の仕事を目指した理由（きっかけ）を教えていただきたいです。

中学2年生の時にグループホームへ職場体験に行ったことがきっかけでした。ご利用者とコミュニケーションを図らせて頂いた場面で、昔話や思い出話を聴かせていただきました。楽しそうに笑ってお話しくださる表情を見た時に嬉しさを感じたことを覚えています。また、自分の経験したことのないことや知らないお話に惹かれ、たくさんの時間を共有してみたいと思いました。



私の身近に福祉や介護に関わる仕事をしている人がいなかったため「福祉の現場は、どういったものなのか」と好奇心が刺激されました。その後、高校は普通科に進学しましたが、この時の福祉に対する好奇心が冷めなかったことも理由の1つです。

敬老園の良いところを教えていただきたいです。

上田福祉敬愛学院在学中に10以上の施設にボランティアに行きました。その中で敬老園の職場の雰囲気が一番、良かったです。施設内の整理整頓が行き届いていることと職員の皆さんの表情が明るく感じました。

入職してみて感じることは、「信頼できる仲間・先輩がいる心強さ」です。入職時、先輩職員が付きっきりで仕事を教えてくださり、安心して覚えることができました。学院の同期も敬老園内にいることで、お互いの状況を身近に感じながら話をすることができています。今でも休みの日に一緒に食事へ行ったり、出かけたりすることでプライベートも充実しています。

待遇面でも年2回の賞与と介護職員処遇改善手当もしっかり頂けるのでモチベーションが上がります。

私たちは多種多様な職種がそれぞれの役割を果たすことで利用してくださる方に「敬老園があって良かった」と思っていただけるようハツラツと毎日を過ごしています。

「いいな」が選べるって気持ちがいい！

選べる1 しおがわ敬老園 デイサービスセンター

「自分はもう役に立たない」「長生きしてもしょうがない」そんな淋しい言葉に対して「私たちは何かできないか!?」

ある時、『高齢者は遊びたがっているんじゃない!学びたがっているんだ!!」そんなキャッチコピーにビビッときました。要介護3以上になっても、「成長欲求」が刺激されれば、きっとまた「明日も生きたい」と人生を楽しめるんじゃないか!外出して花見や新緑を楽しんで、レクでは「学習療法」や「回想法」を使って日々新たな気づきと感動を味わえる。そんな新たな取り組みを行なっていきます。**こう、ご期待!!**

『日々ときめきのあるデイサービスへ』









特別養護老人ホーム、ショートステイを併設。
退院後や在宅生活の不安解消をサポート！

◎しおがわ敬老園デイサービスセンター
TEL.0268-34-6511

連携

選べる3 リハビリや敬老園本店

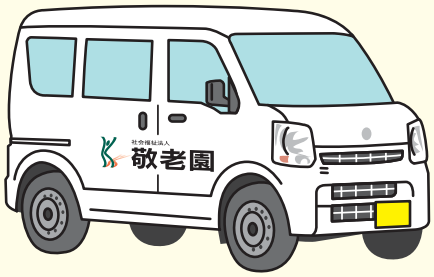
自然の中にあるかけ流しの温泉・リハビリ・畑作り

敬老園発祥の地。自然豊かなこの土地で、源泉かけ流しの湯・リハビリは機器を使い筋力維持向上、土地を生かした歩行訓練やADL維持とactivityを訓練士とともに行っています。また、利用者様と一緒に野菜作りをして新鮮な野菜を食べて頂きます。今まで行ってきた生活パターンをリハビリやで取り戻して頂きたいと思います!

専門スタッフと一緒にリハビリ！
心も身体も若返る！

◎リハビリや敬老園本店
TEL.0268-44-2750

上田市丸子地区には、特徴が異なる3つのデイサービスセンターがあります。ご利用される方の意向や好みによって同じ敬老園のデイサービスの中でも「いいな」が選べます。



選べる 2

丸子デイサービスセンター

『食べる事を楽しもう』今日の食事はなんだろな?

旧丸子町の中心の上田市丸子ふれあいステーション内でデイサービス事業を行なっています。窓からは依田川の河川敷を眺める事ができ、周囲を見渡せば四季折々の眺望を楽しむことができます。通常の通所サービス（レク、入浴、訓練など）プラス**お食事**に力を入れています。『食事は身体つくりの基本』食べる事のみが食事ではありません。目で楽しみ、雰囲気を楽しんだりと色々な楽しみ方があります。定期的に食にまつわるイベントに力を入れています。普段のお食事も厨房がフロアに隣接しているため、出来立て温かい食事を召し上がって頂くことができます(^o^)







「美味しい食事」
「楽しい食事」で
元気な身体つくりをご一緒に！

◎丸子デイサービスセンター
TEL.0268-42-6491

五月ランチ
- 山菜おこわ
- 天ぷら2種
- まぐろとサーモンの刺身
- 白和え
- 茶わん蒸し
- すまし汁
- ほうじ茶プリン

携



連携







五感で味わう敬老園の食事 ～栄養部から～ その12

「ありがとう」の笑顔をずっと忘れません。

楽食 がくしょく
バリアフリーレストラン楽食

平成17年10月1日開店以来、13年余にわたり、ご愛顧賜りましたバリアフリーレストラン楽食を、諸般の事情により、平成31年4月30日をもちまして閉店いたしました。皆様の温かいご支援をいただきながら、苦渋の選択となりました。

高齢者の皆様、障害者の皆様の外食を楽しめる場所、また地域の皆様の会食を楽しめる場所で在りたいという願いのもと、レストラン営業を続けてまいりましたが、令和元年5月1日から、法人内の職員昼食、会議時の会食等の場とすることになりました。

春から初夏にかけての花の季節、秋から初冬にかけての紅葉の季節には、毎年たくさんのご予約をいただきました。「ごちそうさま。ありがとう。」の笑顔と「美味しかったよ。」の励ましのお言葉に、いつも元気をいただきました。ご予約いただいたお客様同士が、声をかけあい空間をゆずりあいながら車いすを押す光景に幾度となく心が熱くなりました。

13年間のレストラン営業の間にいただいたご支援は言い尽くすことはできませんが、13年という永きにわたり、バリアフリーレストラン楽食を支えていただきました皆様に心より感謝申し上げます。

令和元年　5月







